



Pick Up News

トビタテの最新ニュースをお届けします！



新進気鋭のバンドとコラボ！
「FURUSATO」完成！！

10代のアーティストが集う“音楽の甲子園”として知られる、閃光ライオット2012でファイナリストに選出された新鋭のピアノロックバンドSHE'Sとトビタテ生34人がコラボしました。プロモーションビデオでは、SHE'Sが「故郷」をアレンジして演奏する中、海外15か国に留学中のトビタテ生が、それぞれの留学先の言語を使って留学応援歌を歌っています。トビタテを知らない方々に認知を広げ、多くの人に少しでも目に留めてもらえるような願いを込めて制作しました。ぜひ視聴ください。



(画像をクリックすると動画ページに移ります)



高校生による高校生のための「ソーシャル部活動」
「#せかい部」発足！！



高校生による高校生のためのソーシャル部活「#せかい部」が10月1日に発足しました。この取り組みは、海外経験の少ない高校生が授業やニュースでは知ることができない、「リアルな世界」を知ることによって「もっと海外に行きたくなる」きっかけをうむためにはじまりました。活動内容は海外に行ったことがある学生や現在留学中の学生が見た世界を日本中の高校生に共有します。



www.twitter.com/sekaibu



www.instagram.com/sekaibu/



www.tobitate.mext.go.jp/sekaibu/



「トビタテ！意味がわかると〇〇な写真展」を開催！！

8月25日、26日の2日間にわたり、野澤さん、新井さん、高橋さんの3人のトビタテ生が東京・原宿で開催しました。一見すると普通の写真。しかし、その裏にあるストーリーを知ると180度変わって見えるというテーマで、デンマークやドイツに留学に行ったトビタテ生から、ミャンマーやウガンダに行ったトビタテ生まで計16名の出展者が66枚の写真を展示されました。留学して現地で生活をし、人々と交流することで生まれるドラマとリアルな現実が写真を通して約70名の来場者に伝えられました。来場者からは、「もっとみたい」、「留学っていいなと思った」という声が多くあり、無事、大成功で2日間を終えました。



世界に羽ばたく！ 若き挑戦者たち

現在、約6000人のトビタテ生が世界中でチャレンジを続けています。
毎号熱い思いをもったトビタテ生の活躍を紹介してまいります。

① ニューヨークで一汁三菜bentoを販売！！



✎ 本人寄稿 多様性人材コース6期生 安永 麻紀さん

2017年6月から2018年3月まで、「一汁三菜bento開発プロジェクト」に挑戦するためアメリカのデラウェア州に留学していました。語学学校で英語を習得しながら、ニューヨークでスポンサーを獲得し、デラウェア大学栄養科学部から、授業の聴講や現地学生とのメニューの共同開発、お弁当の試食会の実施などの数々の協力を頂きました。日本の栄養学を生かした栄養バランスの整った一汁三菜bentoを2種類開発。その後、弁当会社からの支援を受けて、マンハッタンにあるレストランで店頭販売を実施し、5日間で300個の販売に成功。帰国後の4月には、お客様からの支持で一汁三菜bentoの継続販売が決まり、

2018年8月には再度米し新商品の開発、販売やお弁当デリバリー事業を立ち上げ、合計400万円以上を売上しました。卒業後の進路は、管理栄養士

免許取得後、商品開発者として食品企業への就職を考えています。将来的には、食を通して健康を提供するビジネスをする予定です。



<実際に販売したお弁当>



② 病気を経験した自分と素直に向き合った留学



✎ 本人寄稿 多様性人材コース3期生 門廻 充侍さん

2016年1月から3ヶ月間、アメリカのハワイ大学マノア校で、津波防災の研究を行いました。現地では、太平洋を対象とした津波シミュレーションの実施、観光客に対して実施されている津波防災対策の調査を行いました。現在は、東北大学 災害科学国際研究所で研究を行っています。

津波研究とは別に、トビタテは大切な機会を与えてくれました。それは「病気を経験した自分と素直に向き合う機会」です。私は10歳で小児がんが見つかり、7ヶ月間の闘病生活を経験しました。そして、留学中の2016年2月15日、国際小児がんの日から、経験者としての活動を始め、現在も活動を継続しています。こんな風に、大きな気付きや成長の機会を与えてくれたトビタテに感謝しています。

特に支援企業、支援団体、個人支援者、大学関係者の皆様に御礼申し上げます。私も自分なりにトビタテに恩返ししていきます。



トビタテコミュニティ とまりぎ

「とまりぎ」は帰国したトビタテ生によって運営される同窓組織です。
とまりぎのメンバーから寄せられたメッセージをお届けします。



「教育の島」の未来を一緒に考えませんか？

大崎上島町が主催するイベントに「とまりぎ」が運営に協力する形で実施されるイベントです。「教育の島」と呼ばれる広島県大崎上島町の島の未来を考えるアイデアソンを開催します。アイデアソンとは、グループでのディスカッションを通して新たなアイデアを創出する取り組みです。人口8000人・高齢化率45%の超課題先進地域で、どんな未来を描けるのでしょうか。アイデアソンのほかにもフィルドツアーや交流会などコンテンツが盛りだくさんです。あなたのご参加お待ちしております！

【日時】2018年11月17日（土）・18日（日）

イベントページ：「見て来て知って教育の島～とまりぎの集い編～」

<https://www.facebook.com/events/327195034503658/>

とまりぎ代表



鈴木健太郎

多様性人材コース4期生

留学先
フィリピン・タンザニア・オランダ

トビタテ生の同窓会組織としてはじまったとまりぎでは、トビタテを通して出会うことができた繋がり（コミュニティ）を継続、発展することを目的に活動しています。私は代表として、この活動を通して一人でも多くのトビタテ生のこれからの活躍を応援していきたいと思っています。宜しくお願いいたします。

10月活動説明会を開催！



10月17日（水）に活動説明会を開催いたしました。ご支援を検討いただいている方を始めとした30名の方にお越しいただきました。トビタテ生の留学報告の後初めて開催した懇談会は、遅い時間まで参加者の方々とトビタテ生が挑戦した留学の話について盛り上がりました。



一人一人の学生がどんな困難にもめげずに立ちむかい、乗り越え、自身を身につけたことが最も印象に残りました



来場者の声

素晴らしい取り組みだと改めて感じました。こうした若者を一人でも多く育てていきたいと感じました

次回開催予定

プロジェクトの設立経緯や意義、トビタテ生の留学体験発表を行います。どなたでも参加可能です。周囲の方にもぜひお声がけください！

- | | | | |
|---|----------|-------------|----------|
| 1 | 11/17（土） | 13:00-14:30 | 場所：文部科学省 |
| 2 | 12/5（水） | 19:00-20:30 | 場所：文部科学省 |



お申込みは
QRコード
から

感謝の声



奨学金を受けた学生の声をご紹介します

途上国開発に農業の側面から貢献すべく稲作技術を研究してきた私は、果たして自分の研究が現実で役に立つのか？そんな疑問から、トビタテ！留学JAPANに応募し、稲作研究と技術普及を現地で実践すべく南米コロンビアに渡りました。

一番の学びは、現場での研究の難しさと可能性です。言語も文化も異なる現地人と共に研究し、現場の環境や農家・産業の実態に合った成果を挙げるのは容易ではありませんでした。一方で、その研究の過程や成果を現地で共有していく中で、研究者ならではの自分の現場での役割が見えてきました。

留学したからこそ得られた、現場研究は持続性・発展性のある農業開発に不可欠だという実感と経験を糧に、今後も研究者として農業開発に携わりたいです。奨学金のみならず、研修やメンタリング制度、留学体験の発表機会などを提供するトビタテだからこそ、ここまで有意義な留学ができました。この場を借りてトビタテをご支援いただいている皆様へ厚く御礼申し上げます。

理系複合系人材コース7期生 武田直也



寄付者からのメッセージ

新村 和太 様

去る9月にトビタテ留学JAPANに500万円寄付をして、寄付控除の制度を利用しました。

先日、プロジェクトマネージャーの船橋さんとお話をさせていただく機会があり、2020年までに1万人の留学生を送り出すというトビタテの目標達成のために、約3億円が不足しているとのことでした。

現在、トビタテでは特に高校生の留学支援に力を入れているそうです。調査によって高校時代に留学をした学生は大学に入ってからも多くが留学をすることがわかっているためです。ここで留学できなかった学生は、その後の留学を諦めてしまいます。このため、グローバル人材の育成を考えると、最も投資すべきレバレッジポイントは高校生以下の世代に対する留学支援であることが大体解ってきています。ただ、それを実現する資金がない。私はここに投資するが、この国の長期的な存亡に大きく関わる意思決定になると考えています。

トビタテの学生は、派遣先の世界中で様々な活動を展開しています。その活動のユニークさ、学びや研究の多様性、様々な成果は、ここでは語り尽くせないほど豊かなものになっています。彼ら彼女らが国内で、各国で、そして世界中で作上げるネットワークは、長期的に日本の国益に資するものになると私は確信しています。



ご支援のお願い

1人でも多く意欲と能力ある若者が海外で挑戦を続けられるよう、温かいご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。



マンスリー寄附
クレジットカードで1000円からご寄附いただけます。



ポイント寄附
クレジットカードに貯まったポイント等での寄附も受け付けております。(対象：三井住友VISAカード、パッチョポイント、アプラスカード、ネットマイル)



認知拡大のご協力をお願い
ポスター掲示やリーフレット配布のご協力もお願いしております。

ご寄付のお申し込み・資料請求・お問い合わせ



03-5253-4111(内線4927)
(平日10時から17時)

www.tobitate.mext.go.jp/donation/

トビタテ事務局個人寄付チーム
担当者：胡麻本・服部・木勢